

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まなてい			
○保護者評価実施期間	2026年1月13日 ~			2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2026年1月13日 ~			2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・マンツーマン（1対1）の療育。	マンツーマンでしっかり療育すること、50分間で密度を高めると同時にやりすぎないよう注意を払っています。	指導員のレベルアップやスキルの差異を軽減するための研修の機会を設けたりする。
2	本人の特性やつまづきに合わせた活動プログラム。	面談にてアセスメントをしっかりと行うことでニーズや特性を把握した上で、プログラムを考えています。	常に良い方法、改善を心がけます。
3	・工作やクッキング活動で楽しく通える環境づくり。	「楽しく、成功体験を積み重ね自信をつける」を目標にしています。	作る活動がマンネリ化しないよう工夫します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎サービスなし。		・送迎がないことで、療育がしっかりと行えること、送迎時に保護者に対して利用者の様子を丁寧に伝えることができるため、今後も信頼関係の構築を図っていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	まなてい	公表日	令和8年 2月 20日				
		利用児童数	31人				
			回収数	18人			
		46035		ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		どちらともいえない 18			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		わからない 16		2	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		どちらともいえない 16		2	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		どちらともいえない 17	1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		どちらともいえない 17	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		どちらともいえない 17	1		
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		どちらともいえない 17	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		どちらともいえない 17		1	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		どちらともいえない 17	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		どちらともいえない 17	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		どちらともいえない 3	1	9	5 そのような活動を望んでいないのでこのまま良いと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		どちらともいえない 17		1	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		どちらともいえない 17		1	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		どちらともいえない 3	1	9	5
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。		どちらともいえない 18			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		どちらともいえない 16		1	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		どちらともいえない 17		1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		どちらともいえない 4	3	4	7 利用者以外の子でも参加できるイベントを企画してくれるとありがたいと思う。送迎の時に挨拶する程度です。あれば参加したい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		どちらともいえない 18			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		どちらともいえない 17			1

	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15		1	2		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1				
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3	1	5		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	3	1	8		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	4	1		最近、近隣の県で大きな地震があったので非常時の避難経路等を教えてほしい。	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			2		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	17	1			優しく支援してくださっているので安心して参加できています。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	17		1		楽しみに通所させていただいております。いつもありがとうございます。勉強、ダンス、クッキング等色々な取り組みをしてくださるので楽しんで参加しています。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	17		1		丁寧に指導してくださったり、面談等も熱心にしてくださるので、満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		まなてい			公表日	令和8年 2月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	46035	6		46073	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

供 携	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		6		
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログ（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		
運 営	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		6		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		6		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		6		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		6		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		6		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		6		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		6		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		6		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		6		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		6		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		6		